

ごみゅにけーしょん

Gommunication

みんなに話したくなる みんなと始める 事業ごみ減量ニュースレター

事業所インタビュー

優良事業所に見る! ごみ減量の術!

「ごみ減量・3R優良事業所」に認定されている事業所の取組事例を紹介します。

京都ステーションセンター株式会社

京都駅地下街「ポルタ」を運営。衣料品や雑貨、レストランなど、128店舗にも及ぶテナントショップから排出されるごみを徹底管理されています。

ごみの分別を写真でわかりやすく誘導

各店舗の生ごみの処理料金は重さに応じて変動します

**共通ルールで
ごみ減量!**



店舗番号を記入しないと、ごみ袋を持ち込めない

分別ができていなければ、該当する番号の店舗に返却されます。

多くの店舗で構成されるショッピングセンターでは、排出されるごみも多種多様です。各店長が分別や排出の状況を確認し、スタッフを指導することで、ごみ減量を進められています。

山田繊維株式会社

昭和12年創立の風呂敷専門メーカー。ちょっとしたアイデアで、ダンボール箱や繊維くずなどを別のアイテムに作り変えられています。

ダンボール箱 → 分別用のごみ箱

移動式の作業台 (荷造りの際に使用)

梱包材の筒 → ごみ箱

古くなったごみ箱は、古紙としてリサイクルされます

ガムテープの芯と繊維くず → ペン立て

**手作りツールで
ごみ減量!**

ごみとして出される物を「どうすれば使えるか」考え、徹底的にリサイクルされています。「使えるものは使っていく」という社風は、リデュースにもつながっているそうです。

株式会社片岡製作所

レーザ加工機や電池監査装置を開発・製造。ごみの分別品目を細分化(24品目)するとともに定点観測、環境月報や廃棄物に関わるニュースの発行などに取り組まれています。

見る 分別したごみ箱に廃棄物の名称と内容を表記。分別しやすく工夫しています。

知る ごみは定点観測され、その状況を環境月報に掲載しています。

守る 廃棄物の分別状況、処理方法などを記事にした環境ニュースを発行しています。

ニュースは社員の環境教育にも活用されています

**見る・知る・守るで
ごみ減量!**

環境憲章や環境方針を制定するなど、会社を挙げてごみ減量に取り組まれています。取組の結果、事業ごみの排出量は年々減少しているとのこと。

京都環境事業協同組合からのお知らせ

事業ごみ収集のご相談は当組合まで。「京都市推奨事業系ごみ袋(透明袋)」も販売しています! ★お客様相談窓口を、ぜひご利用ください!

相談窓口 受付時間
Tel. 691-5517 月~金 13:00~17:00

ごみ削減に役立つ豆知識

ごみゅにけーしょん Q&A

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- ① Resource (リソース)
- ② Restart (リスタート)
- ③ Refuse (リフューズ)

答えは裏面の下に
あります

分別ごみの 行方

第5回 生ごみの再生利用

食べ残しや売れ残り、調理くずなどの生ごみは、家畜の飼料や農作物の肥料などに生まれ変わります。今回はそんな生ごみの再生利用の様子を紹介します。

自社で堆肥化等に取り組んでいる事業所もあるよ



生ごみの飼料化・肥料化の流れ



日本における食品の事業系廃棄物

事業所で廃棄されている食品

資料：農林水産省「食品ロスの現状（平成22年度推計値）」



うち食品ロス（規格外品、返品、売れ残り、食べ残し）と考えられる量
300～400万トン

食べられるものもあるのになあ...

リサイクルの一方で、可食部分が廃棄されている（食品ロス）という現実があります。返品や売れ残りといったものを削減するリデュース（発生抑制）が重要です。

再生利用されているのは 飼料化 **204万トン** 肥料化 **64万トン** エネルギー等 **41万トン**

NEWS 53 ～ニュース ファイブスリー～

大学におけるごみ減量ワークショップを実施

（実施期間：平成25年11月～平成26年3月）

京都市では、龍谷大学の環境サイエンスコースの学生や教職員の方々と協働で、大学におけるごみ減量のためのワークショップに取り組んできました。ワークショップでは、3班に分かれて討議が行われ、様々なアイデアが出されました。実際に試行した結果と併せ、ごみ減量の取組について大学に提案しました。



主な取組としては、古紙の回収を促進する「古紙回収ボックスの設置」、透明のごみ箱を利用した「分別の見える化」、分別の方法をビジュアルで伝える「分別表示の充実化」などがあります。

ワークショップの詳細については、ホームページをご覧ください。

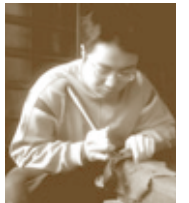
京都市 ごみ減量 ワークショップ

コラム 京の知恵

京都の伝統文化に育まれた知恵を、次代を担う文化人がコラムで紹介！

野中 智史（三味線職人）

私が携わるのは三味線の棹作りになります。三味線には太棹・中棹・細棹があり、それに伴い胴の部分の大きさも変わり、音色のボリュームが変化します。長さが1メートル程ある棹はコンパクトに持ち運びができるよう3つに分かれる組立て式となっています。継ぎ目をぴったりと合わせるためのホゾ穴をはじめ、各所に施された微妙な細工によって音色が左右されるのです。棹は紅木・紫檀など固く強い木材を活用。糸は絹糸。接着には今もニカワや米糊を使い、いずれも最後には土へと戻ります。昔からの知恵です。出来上がった棹はその後、皮張り職人が皮を丁寧に張り、仕上げていきます。

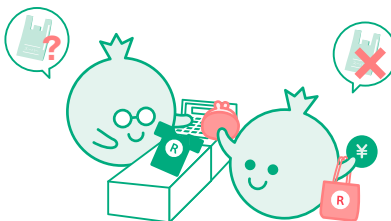


三味線は修理をしながら何十年と使い、明治以前のものをお持ち頂くこともよくあります。愛着を持って音色をつなぎ続けて頂ける三味線。お客さんからはメンテナンスをしながら長く良い状態で使用して欲しいという気持ちが見てうかがえます。三味線のみならず、一つの物を長く使って欲しいと思えば、無駄に購入することなく、捨てることもない環境に配慮した生活になるのではないかと思います。

野中智史（のなかさとし）プロフィール：1982年、京都市生まれ。幼少期より三味線を習い、2002年より三味師今井善一氏に師事。現在、三味線製作のほか、講演会、体験教室、座敷、落語会（出囃子）、ライブペイント等でのアーティストとのコラボ演奏なども多数行っている。

ごみゆにけーしょんQ&Aの答え：③ Refuse(リフューズ)

レジ袋や割り箸、スプーンなど、不要なものを受け取らないことを「リフューズ（発生回避）」といいます。必要な量だけを購入する「量り売り」や「ばら売り」も「リフューズ」の1つと言えます。



発行：京都市環境政策局事業系廃棄物対策室
京都市中京区河原町通二条下る一之船入町384番地 ヤサカ河原町ビル7階
TEL: 075-366-1394 FAX: 075-221-6550

右記ホームページに一般廃棄物収集運搬業許可業者の連絡先・PR内容を掲載しています。ぜひご覧ください。

京都市 一般廃棄物許可業者

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000001025.html>